

編集委員会委員

水谷文俊 | MIZUTANI, Fumitoshi

神戸大学大学院経営学研究科教授

今日は、参勤交代について書きたいと思う。徳川幕府が大名たちに1年おきに江戸と国許との間の往復を命じた、あの制度についてである。この制度は、参勤交代を各大名に強いることで、謀反を起こすような経済力をつけさせないようにしたものだと言われているが、事実、参勤交代には結構な時間と費用がかかった。ある資料によれば、安政6年(1859年)の鳥取藩池田家の場合には鳥取・江戸の行程約720kmを21泊22日で移動している。1日平均で約33kmを移動していることになる。10時間歩くとすると時速3kmのスピードとなる。途中には坂もあったであろうし、大人数の行列でしかも大名の駕籠を担ぎながら移動することを考えると結構なスピードで移動していることになる。加賀百万石の前田家の場合には、行列は1,969人に達していたと記録されているから、大大名になればなるほど大変だったであろう。それにしても、1年のうちの1ヶ月弱を費やしての移動は大変だったであろう。

それでは、参勤交代には一体どれだけの費用がかかったのであろうか？鳥取藩池田家の場合、江戸から鳥取までの21泊22日の行程で総額1957両かかったとの記録が残っている。内訳は、足輕給金、馬代、諸品購入費、運賃、宿泊費などである。当時の貨幣価値は1両十数万円と言われているので、現在の価格に換算すると、江戸・鳥取間の1行程で、総額約2億9千万円かかったという計算になる。一行の行列規模を500人程度とすると、1日・1人当たり約2万7千円程度の費用ということになるので、あながちおかしい数字ではない。しかし、32万石の藩で総額約3億円の参勤交代の費用がかかるのであるから、より遠方の藩にとっては大変な出費となったであろうことは想像に難くない。しかも街道沿いには人々の目もあり、諸藩が家格を競って行列が華美になったと言われているので、参勤交代の費用を簡単には削減できなかったのではないかと。

参勤交代は諸藩にとっては大変な出費であったが、大名行列が宿泊した宿場町にとっては経済効果があったであろう。それでは、一体どれだけの効果があったのだろうか？大名行列が頻繁に通過したであろう宮(名古屋)・江戸間の東海道の宿場町を想定して、その宿場町に年間どれだけの金額のお金が落とされたのかを推定してみる。まず、全国には225名の大名がいた。50万石以上の大大名から1万石程度の小大名まで実に多くの大名がいた。これらの225名の大名の加重平均をとってみると平均石高は

約9万石となった。次に、東海道を通過する参勤交代の大名行列数を推定してみる。江戸時代には現在と比べて、関東・東北の人口数はずっと少なかったはずであるので、大名数を江戸以西と以東で2対1に配分する。そして、江戸以西の主要な街道として東海道とそれ以外を3対1に配分する。その結果、全国225大名のうち約半数の113大名が、参勤交代の際に東海道を通過する結果となった。次に、これら大名行列の規模を推定してみる。実際には大小の大名行列が通過したであろうが、平均的な大名規模は9万石である。参勤交代の際の従者数に関しては、享保6年(1721年)に出された幕府指針によれば、10万石の藩においては足輕・人足を含めて230~240人となっている。実際には幕府の指針は守られずに指針以上の規模の行列となっていたそうである。しかし、ここでは幕府の指針に従い230人の規模と仮定する。最後に、宿場町に落とされる金額を推定してみる。参勤交代の道中にかかる費用の内、諸品購入費・運賃・宿泊費の全てが、人件費・駄賃の4割が道中の宿場町で使われると仮定する。さきの鳥取藩池田家の場合の資料を用いると、1泊・1人当りの道中の費用は、1.7万円となる。したがって、1行列当り230人規模で、113の大名行列を迎えると、4億4千万円となる。しかし、この行列全てがその宿場町で宿泊するわけではない。というのも、大名行列の1日当りの行程は約33kmであるので、東海道の宿場町間の平均距離は約10kmであるから、1日の行程で素通りしてしまう行列もあろう。しかし、3分の1の確率で大名行列を迎えることができるので、結局、1つの宿場町に落とされる金額は年間1億4千万円となる。

参勤交代という制度は、徳川幕府の維持のため始められた制度で、なんという無駄使いをさせたものだという意見もあるが、他方で江戸の文化・上方の文化を地方に、また地方の文化を江戸・上方にもたらした恩恵も大きい。そして、街道沿線の宿場町に経済的な潤いをもたらした、様々な文化を生み出す源泉となった。現在ある全国の特産物の多くが江戸時代に生まれたそうである。こういった特産物のいくつかが参勤交代によって全国に広められたのではないだろうか。そして、その時代にも藩の経済力を充実させるため、より多くの大名行列を呼び込もうとして知恵を絞ったサムライはいたのであろうか。400年ほど前の制度がもたらした交通や地域経済への影響に思いを馳せる今日である。